

CASBEE_Sapporo2014v1.0
(仮称)大通西19丁目マンション新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体
		W	G	S			
配慮項目							
Q 建築物の環境品質							
Q1 室内環境							
1 音環境							
1.1 騒音							
1.2 遮音							
1 開口部遮音性能							
2 界壁遮音性能							
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							
1.3 吸音							
2 溫熱環境							
2.1 室温制御							
1 室温							
2 外皮性能	W						
3 ゾーン別制御性							
2.2 湿度制御							
2.3 空調方式							
3 光・機環境							
3.1 昼光利用							
1 昼光率							
2 方位別開口							
3 昼光利用設備	W						
3.2 グレア対策							
1 昼光制御							
2 ディフューズ対策							
3.3 照度							
3.4 照明制御							
4 空気質環境							
4.1 発生源対策							
1 化学汚染物質							
2 バイオマス燃焼							
4.2 換気							
1 換気量							
2 自然換気性能							
3 取り入れ外気への配慮							
4.3 運用管理							
1 CO ₂ の監視							
2 喫煙の制御							
Q2 サービス性能							
1 機能性							
1.1 機能性・使いやすさ							
1 広さ・収納性							
2 高度情報通信設備対応							
3 バリアフリー計画							
1.2 心理性・快適性							
1 広さ感・景観							
2 リフレッシュスペース							
3 内装計画							
1.3 維持管理							
1 維持管理に配慮した設計							
2 維持管理用機能の確保							
3 衛生整備業務							
2 耐用性・信頼性							
2.1 耐震・免震							
1 耐震性							
2 免震・制振性能							
2.2 部品・部材の耐用年数							
1 軸体材料の耐用年数	W						
2 外壁仕上げ材の修補必要間隔	W						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	W						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	W						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	W						
6 主要設備機器の更新必要間隔	W						
2.4 信頼性							
1 空調・換気設備							
2 給排水・衛生設備							
3 電気設備							
4 機械・配管支持方法							
5 通信・情報設備							
3 対応性・更新性							
3.1 空間のゆとり							
1 階高のゆとり							
2 空間の形状・自由さ							
3.2 荷重のゆとり							
3.3 設備の更新性							
1 空調配管の更新性							
2 給排水管の更新性							
3 電気配線の更新性							
4 通信配線の更新性							
5 設備機器の更新性							
6 バックアップスペースの確保							

CASBEE_Sapporo2014v1.0

(仮称)大通西19丁目マンション新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0

■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート	実施設計段階	重点評価項目 : W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理			建物全体・共用部分	住居・宿泊部部分	全体
		W	G	S			
記慮項目	Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出		G			3.0	0.30	-
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.40	-
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		W	G		3.0	0.50	-
LR 建築物の環境負荷低減					-	-	-
LR1 エネルギー					-	0.40	-
1 建物外皮の熱負荷抑制	W				5.0	0.20	-
2 自然エネルギー利用	W				2.0	0.10	-
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.82	3.1	0.50
集合住宅以外の評価(3a,3b)	W				一次エネルギー消費量、断熱等成功等級が等級4を満たす。	3.1	1.00
集合住宅の評価(3c)	W					3.0	0.20
4 効率的運用						-	-
集合住宅以外の評価						3.0	0.20
4.1 モニタリング	W					-	-
4.2 運用管理体制	W					3.0	-
集合住宅の評価						3.0	1.00
4.1 モニタリング	W					3.0	0.50
4.2 運用管理体制	W					3.0	0.50
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-
1 水資源保護						3.4	0.20
1.1 節水					節水型水栓水型便器を使用しています。	4.0	0.40
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60
1 雨水利用システム導入の有無	W					3.0	0.70
2 雜排水等利用システム導入の有無	W					3.0	0.30
2 非再生性資源の使用量削減						3.3	0.60
2.1 材料使用量の削減	W					2.0	0.11
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W					3.0	0.22
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W					3.0	0.22
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W					3.0	0.22
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W					-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W				乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。(躯体・LGS・仕上材)ユニットバス、システムキッチン、洗面化粧台ユニットを採用	5.0	0.22
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.0	0.20
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30
3.2 フロン・ハロンの回避						3.0	0.70
1 消火剤	W					-	-
2 発泡剤(断熱材等)	W					3.0	1.00
3 冷媒	W					-	-
LR3 敷地外環境					-	0.30	-
1 地球温暖化への配慮						2.7	0.33
2 地域環境への配慮						3.1	0.33
2.1 大気汚染防止	W				潜熱回収型を使用しています。	4.0	0.25
2.2 温熱環境悪化の改善	W	G	S			3.0	0.50
2.3 地域インフラへの負荷抑制						2.6	0.25
1 雨水排水負荷低減	W					-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.33
3 交通負荷抑制	W					2.0	0.33
4 廃棄物処理負荷抑制	W	S				3.0	0.33
3 局辺環境への配慮						3.2	0.33
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40
1 騒音						3.0	1.00
2 振動						-	-
3 悪臭						3.0	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40
1 風害の抑制						3.0	0.70
2 砂塵の抑制						3.0	-
3 日照阻害の抑制					光害対策ガイドラインのチェック項目の過半を満たしている。過剰な外部照明の抑制センサーやタイマーを使用。広告塔はなし	4.4	0.20
3.3 光害の抑制						5.0	0.70
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策						3.0	0.30
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策						-	-